

№25 「むし」

おはようございます。

新型コロナウイルス オミクロン株が大流行しています。みなさんのまわりの人がいつかかかるかわかりません。だから、「あいつコロナになった。」とか「オミクロン！」などとはやしてたり、いじめたりしないようにお願いします。自分がオミクロンになったら、友だちにどうされたいか考えたらよくわかるかと思います。

また、もし自分がなったとしても、決して自分を責めないでください。ものすごく強いウイルスなので、すれ違っただけでもうつると言われています。それでもマスクをしているとかかりにくいと言われていますので、マスクやうがい、手洗いを忘れないでお願いします。

さて、今日は「むし」についてお話ししようと思います。虫と聞いて、「わ、苦手」「虫、無理」という声が聞こえてきそうですが、今日はそういう虫ではなく、人の役に立つ虫のお話なんです。

たとえば、冬を代表する果物といえば...「りんご」がありますが、このりんごにも虫は大きく関わっています。なんと、リンゴの花が夏前に咲くのですが、そのときには、虫が花を飛び回って花粉をつけないと、なんとリンゴの実が実らないのです。もちろん、できあがったリンゴの実を食べる虫もいるのですが、虫がいないと多くの果物や野菜が実らないのです。

また、病気の治療にも虫は大活躍です。例えば恐ろしい病気のひとつにガンがあります。身体の中の方にできものができてしまうものです。これも小さいうちに見つければすぐになくなれるのですが、からだの中の方なのでなかなかみつけにくく、見つかったときにはもう大きくなっていて手遅れと言うことがすくなくありません。では小さいうちにどうやって探すのか。

今まで、レントゲン、MR Iなどで身体の内部を人間が見て判断していたのですが、それではやはり見落としがありました。じっくりみればわかるかもしれません、時間が掛かりすぎて、多くの人を検査することができません。

そのころ、虫の研究者、広津崇亮（ひろつたかあき）先生がガン患者のおしっこには特有の匂いがありシーエレガソスというミミズみたいな小さな虫は、その匂いが好きだということをつきとめました。シーエレガソスの前に健康なおしっこを置くと逃げるのですが、ガン患者のおしっこを置くと寄っていくそうです。昨年ぐらいから、この検査も実用化されているようなのですが、シーエレガソスのおかげで多くの人の命が助かるといいですね。

最後に、今年の冬は本当に雪がたくさん降ります。このあたりではまだちらほら降るぐらいですが、校長先生の家のあたりは、ほぼ毎日雪が降り積もっています。でも、校長先生はそのことを予想していました。というのも、10月ごろ校長先生の家のあたりではカメムシがものすごく大量に発生したのです。

昔から「カメムシが多い年は雪がたくさん降る」と言われていて、ひょっとしたら今年の冬は雪が多いんじゃないかなあと思っていたのですが、本当に雪がよく降っていて、言い伝え通りだと驚いています。カメムシが雪の多さを予言してくれたのです。虫の力ってほんと不思議ですね！

これで校長先生のお話を終わります。最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。

他にも虫の不思議な力を知っていましたら、校長室前のボードなどにつぶやいてみてください。